

## 令和 6 年度潮来市男女共同参画審議会

### 1 日 時

令和 7 年 1 月 27 日(月) 11 時 00 分～12 時 20 分

### 2 場 所

潮来市役所 第一会議室

### 3 出席委員（順不同・敬称略）

内田 聡(茨城大学人文社会科学部教授)

光畑 由佳(有限会社モーハウス)

小松崎 修平(潮来市教育委員)

和田 直子(潮来市議会議員)

大川 容子(潮来市男女共同参画ネットワーク連絡会長)

本宮 洋子(茨城県男女共同参画推進員)

高橋 将行(一般公募)

浅利 みどり(一般公募)

(計 8 名)

### 4 内 容

#### (1)開会

#### (2)議事事項

令和 5 年度潮来市男女共同参画事業実施状況調査の報告

#### (3)意見交換

#### (4)閉会

#### <配布資料>

・令和 6 年度潮来市男女共同参画審議会委員名簿

・会議次第

・会議資料

第 2 期潮来市男女共同参画基本計画の体系図

第 2 期潮来市男女共同参画基本計画に基づく令和 5 年度事業実施状況調査票

### 5 結 果

・議事について、事務局から説明を行った後、意見交換が行われた。主な意見は下記のとおり。

## <主な意見(要旨)>

### 【男性の家事・育児・介護への参画促進について】

\*男性の育児休業取得率について、最近では%だけではなく、どれぐらいの期間取得したのかが問われてきている。今後は考慮していった方がよい。

\*夫婦で子どもを育てるという方向性は進んでいるように感じる。

\*育休取得については、男性の取得が増えており、若い人の意識が変わってきている。しかし、制度をよく知らないために、業績や評価に影響することを気にしている傾向もある。制度の周知が必要。

\*育休取得をした人やそのチームを評価することもあってよいと思う。その他にも取組事例を参考にしていくとよい。

\*男性の育休を進めることも大切だが、女性の仕事に関する支援もあるとよいと思う。

\*子育てしている家庭をみると昔に比べて男性の参加は増えてきたように感じる。

### 【地域活動・団体活動等への男女共同参画の促進について】

\*区長に占める女性の割合について、昔ながらのイメージが強く残っている部分もあり、なかなか難しいところかと思う。しかし、他の地域では同じような状況を抱えていても改善をしている例もある。市で調べてモデルケースを示し、参考にしてもらう等のやり方があってもよい。

\*区長に占める女性の割合が0%な件については、いきなり区長役を引き受けるのは難しい。まずは会計等の他の役員を経る必要があるのではないか。区長以外の役割に女性がどのくらいいるのかを把握し、登用を進めていくことが先につなげるために大切。

\*メンバーに女性が入っていてもトップは男性になりがちなので、仕組み作りをテストケースで実践すると動きが出るかと思う。

\*代表は男性が多いが、女性に関わっていないわけではなく、事務を担っているケースもある。

\*日本には男性を立てるという風潮があり、女性もそれに加担している現状はある。

\*区長会や役員選出の際に男女共同参画について説明してはどうか。

\*女性消防団について現状は役割が少ない。さらに活動の幅が広がれば、防災に関わりたい女性が集まるのではないかと思う。

\*震災など有事の際には女性の視点も大切。女性消防団の役割の活動も充実していくとよいと思う。

### 【「潮来市第2期男女共同参画基本計画」の施策の推進について】

\*「潮来市第2期男女共同参画基本計画」の施策を実行するために、それぞれの項目が合っているのかを再度検討して、改善した上で数値を上げていくことや、区長の部分でいえば区長以外の女性の役員の割合を参考に記載して、改善していることが見えるようにしていくとよい。7年度は計画見直しのタイミングの為、7年度には数値や項目の議論を考えていく必要がある。

\*事業項目について「実施している」項目が多いのに、潮来市で男女共同参画の機運が高まっているとか、進んでいると感じられない。指標をもとに実施しているが進まないのはなぜなのか、実施しているが目的としているところが適っているのか、男女共同参画を進めるために必要な指標は何なのかを令

和7年度では洗い出したい。

＊それぞれの事業について、実施した担当課の感触を大事にしていけると良いと思う。

＊個別の項目の見直しも大切だが、まずは市役所の中で男女共同のインパクトを与えるような取組を行い、それに関心を持ち、市民の方に伝わっていく順番かと思う。目に見えてインパクトがある事例が一つあると、変わってくところがある。来年度の見直しのときにそれを考えるとよいと思う。

＊中学校の制服に女性用のスラックスを導入したという部分については、根本的な男女の枠組みから外れていないように感じる。男女に関わらずに「選べる」という選択肢があるとよい。

＊意識の醸成としての事業が教育の中に盛り込まれているのは良いことだと思う。

＊「DVの相談事例がない」との報告が見受けられるが、そもそもDVだと気づいていないケースが多いことを考えると、DVに対する知識・教育はとても大切。

#### 【その他】

＊今度は審議会での議論の時間を増やした方がよい。

＊男女共同参画について、子どもたちのほうが柔軟に受け入れている印象がある。地域の子どもたちから大人へ伝えていくような仕掛けなど、普及促進の方法も考えていくとよいと思う。

＊子どもの時には男女関係なく育っている中で、良い方向にも悪い方向にも無意識のうちに身についていくので、教育の部分はとても大切。

＊子どもを産む世代の女性が減っているため、社会同様に潮来市内の子どもの数は減っていると感じる。

＊ファミリーサポートを使いたいという家庭もあるが、複数人のこどもを預ける場合、預かってもらえるか等、活用に不安がある。

＊子育てと仕事の両立を機会に常勤を辞めてパートに移る方もいる。今後、さらに男女共同参画が進み、住みやすく子どもを潮来で産みたいと思ってもらえる方が増えたらよいと感じている。

＊ハラスメント研修は大切なので実施した方がよい。マンネリ化してしまいがちであるので、工夫しながら実施するのがよい。